

地域発の報告会

元気シニア活躍推進モデル事業

-発表内容のまとめ-

JAPAN ●
TOCHIGI



令和6年3月



生涯現役シニア
応援センター

ぷらっと

ご挨拶

本日は、ご来場いただき誠にありがとうございます。

期末のご多忙な折にもかかわらず、貴重なお時間を割いていただき、職員一人ひとりにこころあたたまるお声がけをくださいましたことにも、感謝の気持ちでいっぱいです。

これまであまり詳しくご報告できなかった「ぷらっと」の取り組みや、地域活動の実績などをご覧いただける機会となりましたことを、こころよりうれしく思っております。

みなさまのお役にたてればと考え、この「発表内容のまとめ」をお手元にご用意させていただきました。

各団体の発表をお聞きになりながらその要点をご覧いただき、報告会が終わりました後も発表の全体像を思い出していただければと思います。

また、「モデル事業助成金事例集」も併せてご覧いただくことで、より鮮明に活動をイメージしていただければ幸いです。

季節はいつの間にか、春の彼岸の入りを過ぎ、彼岸の中日を迎えようとしています。

「寒さ暑さも彼岸まで」と申します。余寒の厳しさやそれに伴う様々なつらさも、彼岸のころには和らいで、いずれ去っていくという言い慣わしですが、まだまだ朝夕冷えることも多い時期ですので、お身体にはお気をつけてお過ごしくださいませ。

不行き届きの点もあろうとは存じますが、本日は、何卒よろしく願いいたします。

簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。

令和6年3月

とちぎ生涯現役シニア応援センター
ぷらっと 職員一同

発表内容のまとめ

-第一部-

大谷福寿会（真岡市）

事業名	高齢者が安心して元気に暮らせる地域づくり ～認知症とフレイル予防～
実施背景	一人世帯や閉じこもりがちな高齢者の増加
実施目的	高齢者の孤立防止、認知症及びフレイル予防
実施方法	大谷支え隊を発足し、傾聴活動を主とした高齢者宅訪問の実施 元気アップカフェで、脳トレ→英会話→健康ゲームの実施
実施結果	会員の8割以上が活動に毎回参加 新規会員4名加入 市長表彰授与
考察	《気づいた視点》 傾聴×寄り添い×相手の立場に立った活動
結論	①高齢者宅に戸別訪問を行い、一步踏込んだ地域との距離感を持つことが、結果的に大谷福寿会の存在感も高めた ②大谷福寿会会員が積極的にクラブ会員以外の高齢者と係わり、個別訪問活動を行うことで、合計4名の新規入会につながった

日野町いきいきクラブ（那須烏山市）

事業名	日野町地区ふれあいコミュニティ活動
実施背景	核家族化等による世代間のつながりの希薄化
実施目的	三世代交流の活性化や地域のつながりの再生
実施方法	三世代が参加しやすい活動の企画と活動への参加呼びかけを実施
実施結果	地域行事への関心の高まりと環境美化活動への賛同者の増加
考察	《気づいた視点》 子どもの参加意欲を高める活動内容で、子育て世代の参加も喚起
結論	①圏域で重要な役割を担う団体を中心に活動した結果、その波及効果として新たな団体の活動参加に結び付けることができた ②三世代がそれぞれの役割を持って参加できる活動メニューを企画することで、全世代の関心を集める行事ができた

発表内容のまとめ

日光地区連絡協議会（日光市）

事業名	みんなでペタンク！ 居場所づくりと世代間交流で元気にいきいき
実施背景	協議会が行う行事に参加できないクラブ員の増加
実施目的	活動の拠点となる居場所づくりとクラブ員の活動意欲の高揚
実施方法	地域に出向いた「居場所づくり」で「スポーツと食の交流」を実施
実施結果	単位クラブの活動の再開や会員の増加につながった
考察	《気づいた視点》地域ごとの居場所づくり×継続した活動
結論	①参加者が少なくとも根気よく活動すること ②参加者が何をしたいのか確認し、活動に反映すること ③「楽しかった」ことをみんなで共有し、次のステップへ

喜沢中部喜楽会（小山市）

事業名	作って！ 食べて！ 交流して！ 未来につなごう桑の葉料理
実施背景	桑の葉の生産と桑の葉料理の存続の危機
実施目的	桑の葉料理の掘起し・振興・伝承
実施方法	古くから健康維持に良いとされる「桑の葉」を 子育て層に人気がある「新たなレシピ」で普及させる
実施結果	料理講座で仲間づくり → 地域行事に参加 → 地域から出展要請
考察	《気づいた視点》場づくり×気軽体験×会話
結論	①初めにクラブ内で講師を複数人育てる講習を行った ②地域の祭事や行事等の機会を捉えて「桑の葉料理ブース」を出展 ③桑の葉の利用の幅を広めることを、地域交流の起点としている ※地域の伝統はコミュニティを形成する力があることを理解し広めている

発表内容のまとめ

芳賀町シニアクラブ連合会（芳賀町）

事業名	復活！ シニアと子どもの交流で『みんなが元気！』
実施背景	シニアによる世代間交流と美化活動による地域貢献の復活
実施目的	高齢者の健康づくり・生きがいづくり
実施方法	連合会を主体とした町内3つの学童クラブ児童との世代間交流と地域社会の一助となる学童クラブ内や付近の美化活動を行う
実施結果	児童と会員の相互が地域への興味・関心を持つきっかけとなった
考察	《気づいた視点》 知り合うこと×つながること×関わること
結論	①得意な事を活かして地域のために貢献できる場が用意できた ②児童との交流は地域の次世代育成に関われる充実感があった ③地域の顔見知りを増やし「お互い様」の心を育んでいる ※同じ空間を過ごす関係性の構築が、地域貢献につながっていく

-メモ欄-

発表内容のまとめ

-第二部-

静寿会（栃木市）

事業名	環境美化から始めるマインド・リセット! -静和川流域連携キャラバン- <Change mind set project>
実施背景	家族や地縁で行われていた支え合い活動が難しくなっている
実施目的	流域連携による清掃活動を通じた顔が見える関係づくり
実施方法	月に一度数百メートルづつ地区を流れる静和川流域の美化活動を行いながら、渡良瀬遊水地を目指す
実施結果	地域の複数の団体・企業の協力も得て、有機的な組織活動に発展
考察	《気づいた視点》 越境×対話×共創
結論	①共有しやすくメッセージ性の高い目標をかかげることができた ②実働を通じた多くの人との「発話環境」ができ、連帯感が得られた ③活動の仕手と受け手の往復運動が主流とならずにすんでいる ※複数地域の協力も得て、面としての広がりとお機的な組織活動に発展

箱森東部シニアクラブ（栃木市）

事業名	R60 みんなが学んで・体験して・教えて、地域で活躍! -eスポーツがつくる小地域ネットワーク活動!!-
実施背景	新しいことに挑戦することで、日常の生活に変化と刺激を生み出す
実施目的	活動の魅力づくりによる引きこもり防止とフレイル・認知症予防
実施方法	自治会公民館を会場とし毎週曜日を決めてeスポーツを開催
実施結果	会員との親和性は高く、ヘルスケアの一環として活動している
考察	《気づいた視点》 健康×集まり×笑顔
結論	①IT 機器への苦手意識解消のための対応が必要 ②継続性確保のための、ゲームごとの会員表彰制度も設ける ③参加率を高めるために、日頃の他の活動参加率も高めておくことが基本 ※eスポーツが持つ効果を継続して収集し、エビデンスとして蓄積していく

発表内容のまとめ

川崎町曙クラブ（足利市）

事業名	持続可能な3世代コミュニケーションの提供と地域再発見 -いつまでも笑顔でいるために! すまいる・シェアリング-
実施背景	①令和元年の台風19号で大きな被害に見舞われた ②コロナによって、会員間の交流機会が減少
実施目的	出会い・交流の場の提供による地域の連帯感の高まり
実施方法	住民同士の支え合い活動（マルシェ・三世代交流など）を実施
実施結果	地域みんなで地域のことを見つめ、子どもたちも高齢社会に対して高い意識を持つ、とても良いきっかけになっている
考察	《気づいた視点》 風土×歴史×人
結論	①地域への関心度は活動参加後に高まる(アンケートで変化を確認) ②活動をする会員と話したり、その姿を見て認識の変化が生じている ③課題は、地域に関心のない人、地域から孤立している人との交流方法 ※時代背景理解と気遣い+仲間と助け合う「ONE PIECE」型で運営

-メモ欄-